

第700回建設技術講習会 現場研修事業の概要

1 地域連携道路事業「中津日田道路 日田山国道路5号トンネル」 [大分県] …… 大分県日田市

- ・中津日田道路は、大分自動車道や東九州自動車道と連結し、福岡市や北九州市、大分市などを結ぶ循環型ネットワークを形成する延長55kmの高規格道路。
- ・全線開通により、物流の効率化、広域観光の促進、災害に強い道路機能の確保が期待されている。
- ・その一部である日田山国道路は、延長8.8kmで、山間部を通過することから約6割がトンネルで計画されている。現在2本のトンネルを施工中。
- ・トンネル工事における封緘養生など覆工コンクリートの品質確保対策を視察することが可能。



2 津波緊急避難施設整備事業（家島命山） [大分市]

…………… 大分県大分市

- ・海に面し、津波浸水想定区域である家島地区の南海トラフ地震における最大想定津波高は3.6mとされている。
- ・家島地区には、高い津波避難ビル等がないことから、津波から逃げ遅れた地域住民や公園利用者等の緊急避難が可能な施設として、家島緑地内に人工高台を整備し令和5年11月に完成した。
- ・標高10m、避難スペース400㎡、収容人数400人の高台には、防災パーゴラや防災ベンチを有している。



3 大野川 大津留地区 河川改修・堤防強化事業 [九州地整]

…………… 大分県大分市

- ・大野川は、急峻な山地が占める上流部から、多くの支川を合わせて中流峡谷部を流下し、大分平野にて判田川等を合わせ、大分市大津留において乙津川を分派し、別府湾に注ぐ一級河川である。
- ・全国的に、気候変動による洪水被害がさらに頻発化・激甚化することが想定されている。
- ・大野川の大津留地区においては、従来の河川水位を少しでも下げる整備に加えて、治水施設の能力を超える洪水に対しても、越水による被害をできるだけ減らすための効率的・効果的な対策として「粘り強い河川堤防」をパイロット事業として実施している。

